



*KUMAMOTO*

熊本キャンパス

企業の皆様へ 2012



革新する技術、創造する未来 ~夢へ翔る熊本高専~

**熊本高等専門学校**

Kumamoto National College of Technology



*YATSUSHIRO*



八代キャンパス

## ごあいさつ

校長 宮川 英明



平成20年12月の中央教育審議会答申では「高専で養成される人材は、創造性を持って自ら問題を発見して解決できる実践技術者や、ものづくり技術のイノベーションを担う新しい創造的技術者、高度化・複合化する科学技術を踏まえた設計思想・設計情報をもものづくりの現場で実践できる技術者、特色ある中小企業の将来の技術トップ、さらには起業の担い手など、多様な役割が期待され、実際にそうした役割を果たすようになってきている」と述べられています。

こうした社会の期待に応え、更なる教育の質の向上、専攻科の拡充、地域連携の強化を図るため、旧熊本電波高専と旧八代高専は高度化再編して、平成21年10月に2つのキャンパスからなる新しいモデルの熊本高専に生まれ変わり、平成22年4月より新設学科への学生受け入れを開始しました。平成24年度は3学年までが新設学科生、4学年以上が既設学科生となります。

熊本高専の学科構成の特徴は、ICTを核として、技術分野領域をさらに融合・複合化したところにあります。特に、熊本キャンパスはICT系、八代キャンパスは融合・複合系という特色を最大限に活かすことにより、新しい時代の様々な場面で活躍できる人材の育成に対応できる学科構成としました。専攻科についても、未知なる複合領域へ対応できる高度な技術者育成を図ります。

新設の3センター（ICT活用学習支援センター、地域イノベーションセンター、PBL・総合教育センター）も連携協力して、社会人基礎力や国際性を身につけた課題発見・解決型のイノベーションを創出できる技術者の育成に努めてまいり所存です。これまで同様、皆様のご理解とご支援をよろしくお願い申し上げます。

## 平成25年3月卒業生と専攻科修了生について

熊本高専では、上記のように平成22年4月から新設学科の新入生受け入れを開始していますが、平成25年3月卒業予定の学生は、旧熊本電波高専と旧八代高専に入学して、以下の既設8学科で学んでいる学生です。また、専攻科については、新設2専攻の学生が修了予定です。

### □熊本キャンパス

情報通信工学科・電子工学科・電子制御工学科・情報工学科  
(いずれも旧熊本電波高専からの既設学科)  
専攻科 電子情報システム工学専攻 (新専攻)

### □八代キャンパス

機械電気工学科・情報電子工学科・土木建築工学科・生物工学科  
(いずれも旧八代高専からの既設学科)  
専攻科 生産システム工学専攻 (新専攻)

なお、求人等の対応は、それぞれのキャンパスの窓口で行いますので、よろしくお願い致します。

## 熊本高専の新学科構成とH25年3月卒業・修了生の学科・専攻科



熊本キャンパス



八代キャンパス



## 平成24年度在校生の学年編成

		熊本キャンパス ICT系学科				八代キャンパス 融合・複合系学科				
専攻科	H25年3月修了	2年	電子情報システム工学専攻				生産システム工学専攻			
	H26年3月卒業	1年	電子情報システム工学専攻				生産システム工学専攻			
本科	H25年3月卒業	5年	情報通信	電子	電子制御	情報	機械電気	情報電子	土木建築	生物
			工 学 科				工 学 科			
	H26年3月卒業	4年	情報通信	電子	電子制御	情報	機械電気	情報電子	土木建築	生物
			工 学 科				工 学 科			
	H27年3月卒業	3年	情報通信 エレクトロニクス	制御情報システム	人間情報システム		機械知能システム	建築社会デザイン	生物化学システム	
		工 学 科				工 学 科				
H28年3月卒業	2年	情報通信 エレクトロニクス	制御情報システム	人間情報システム		機械知能システム	建築社会デザイン	生物化学システム		
		工 学 科				工 学 科				
H29年3月卒業	1年	情報通信 エレクトロニクス	制御情報システム	人間情報システム		機械知能システム	建築社会デザイン	生物化学システム		
		工 学 科				工 学 科				

## Topics 国際的に通用する技術者教育の推進

熊本高専では、本科4・5年と専攻科1・2年の4年間の教育について、日本技術者教育認定機構(JABEE)から認定された2つの「技術者教育プログラム」を実施しています。これらの教育プログラムは、J A B E Eが示す国際的基準に適合したものです。

また、本校では「国際化教育」の推進を目標に掲げており、シンガポール・フィンランド・香港などの高等教育機関と交流協定を締結して、相互の学生交流を実施しています。熊本キャンパスでは4学科全てが4年次に海外研修旅行を実施しており、八代キャンパスでも米国での英語キャンパや中国・北海市との交流などを行って、学生の国際性を涵養するための積極的な取組を実施しています。

また、これらの取組から、平成20年度より、本校の「ものづくりコンテストを活用した国際化教育」が質の高い大学教育プログラム(教育GP)に採択されています。



# 情報通信工学科 Department of Information and Communication Engineering

情報通信工学科では、放送システム、インターネットを用いたマルチメディア通信、衛星通信、光通信、移動体通信、無線LANなど様々な通信システムの運用、設計、開発に携わる技術者の養成を目指しています。

## 【授業・実験・卒業研究など】

高学年では、電波や光による通信システム・ネットワーク技術、インターネットを支える通信プロトコル・セキュリティ技術、マルチメディア通信で用いられるCG・画像処理技術、コンピュータプログラミングや電子装置の制御、さらには情報通信技術の福祉・医療・娯楽、環境保全などへの応用で、人々の暮らしを豊かにする先進的な技術を学びます。



マルチメディアに関する授業



情報通信工学実験



電波暗室



パソコン演習室

## 【資格取得】

第1級陸上無線技術士やDD1種などの通信や第3種電気主任技術者など電力に関するハードウェアの資格およびITパスポート試験やCGエンジニア検定2級などのソフトウェアに関する資格に加えて語学(実用英語検定2級、TOEIC)の三つの資格取得を目標としています。  
※第一級陸上無線技術士の「無線工学の基礎」が卒業時科目免除、第一級陸上特殊無線技術士の資格は卒業時に認定で取得可

# 電子工学科 Department of Electronic Engineering

電子工学科は、半導体デバイスや大規模なシステムなどの設計・制作・管理に携わる電子技術者の養成を目指し、「電子デバイス」と「応用電子」分野に関する実践的専門技術の教育に力を注いでいます。

## 【授業・実験・卒業研究など】

電子工学に関連する授業と同時に、全国高専随一の規模と設備をもつクリーンルーム(クラス10,000、45㎡)におけるMOSキャパシタの製作・評価などの半導体製造プロセスから応用電子に関する実験を体系的に学びます。また、5年生の卒業研究では、IMEC(ベルギー)やJAXA(宇宙航空研究開発機構)などとの共同による耐放射線特性に優れた半導体材料・デバイスの開発や太陽電池用新電極、ニューロデバイス、半導体表面構造に関する研究を行っています。



太陽電池用新型電極の研究開発



半導体表面構造の研究



宇宙用半導体デバイスの研究開発



ニューロデバイスの研究開発

## 【資格取得】

通信・情報関連技術や語学(実用英語検定2級)に関する資格取得を奨励しています。

## 熊本キャンパスの進路状況(その1)

熊本キャンパスの特徴は進学率の高さ(図1)ですが、進路は、成績順で決めるのではなく、本人の意思を重視しています。そのため、大学に編入する実力を十分持った学生が就職している場合もよく見受けられます。

また、本キャンパスで学んだことと就職先の業界との関係(図3)を見ると、学科により傾向が大きく違ってきます。

今後も高い専門性を持ちながら適応能力の高い、やる気のある学生を輩出して行きたいと思います。

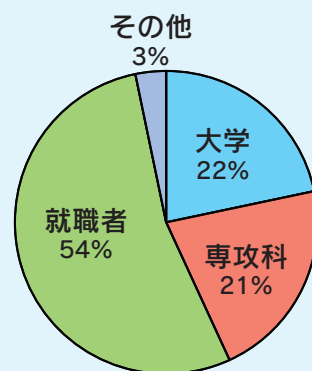


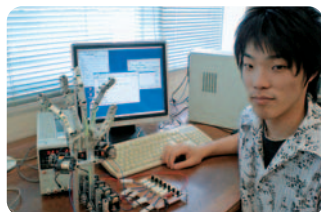
図1 過去5年間の進路

# 電子制御工学科 Department of Electronic Control Engineering

電子制御工学科では、知能ロボットの基盤技術である制御理論・コンピュータ・プログラミング・回路設計について学び、組み込みシステムの設計・開発に携わる技術者の養成を目指しています。

## 【授業・実験・卒業研究など】

高学年の実験では、制御系設計に用いられる専用のCADソフトウェアを用いた各種応答特性シミュレーションなどの実験を行うほか、卒業研究においては、例えば、ワイヤ駆動方式による軽量で実用性と汎用性を兼ね備えたロボットハンドの開発を行う研究などに取り組んでいます。また、技術者に求められている英語によるコミュニケーション能力を養うために、国際交流や海外からの招聘教授による英語での専門科目講義を行っています。



ワイヤ駆動方式多指ロボットハンド



国際化教育：英語による授業風景



シーケンス制御実験



2足歩行ロボット制御

## 【資格取得】

学習成果を確かなものとするために、ラジオ・音響技能検定、デジタル技能検定、基本情報技術者試験、第二種電気工事、実用英語検定などの資格取得を奨励しています。

# 情報工学科 Department of Information and Computer Sciences

情報工学科では、コンピュータのハードウェア、ソフトウェアに関する基礎的な知識をもとに、ネットワーク、マルチメディアなどの専門的な分野における設計・開発ができる技術者の養成を目指しています。

## 【授業・実験・卒業研究など】

C言語やJava言語によるプログラミングの基礎と応用を学ぶソフトウェア実験と、電気・電子回路や論理回路、FPGAなどに関するハードウェア実験を実施しています。卒業研究では、コンピュータグラフィックス、ネットワーク、マイコン応用、音声信号処理、感性工学、数値計算などの多彩なテーマを取り上げています。全国高専プログラミングコンテストには毎年出場し、優れた成績を取っています。



論理回路実験



FPGAを用いたハードウェア設計演習



プログラミングコンテスト



プログラミング実習

## 【資格取得】

「基本情報技術者試験」、「ITパスポート試験」などの情報処理技術者試験の受験を目指す学生に個別指導を行い、より多くの受験を奨励しています。

## 熊本キャンパスの進路状況(その2)

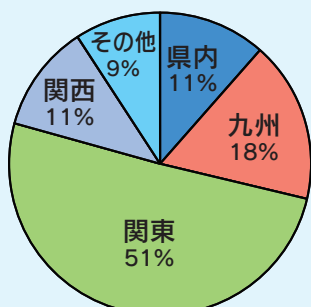


図2 就職先の地域(H23年3月卒)

■ 製造業(電子部品等) ■ 製造業(輸送用機械器具等) ■ 製造業(その他) ■ 電気・ガス ■ 情報通信業 ■ その他 ■ 公務員

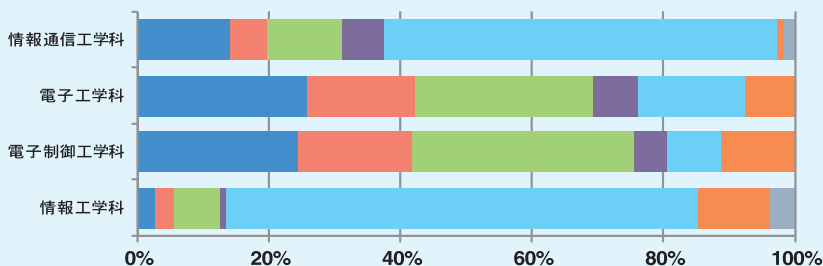


図3 学科別就職先の業界(5年間)

# 機械電気工学科 Department of Mechanical and Electrical Engineering

機械電気工学科では、「モノづくり」の基盤となる機械工学を基本とし、電気・電子・制御・情報通信技術等の分野にも対応できる「総合エンジニア（工学系システムエンジニア）」を育成します。



ものづくり実習

## 【授業・実験・課題研究など】

モノづくりの基盤である製図、材料力学、加工法から機械システムの基本となる熱力学や流体力学、最適に動かすための電子制御やプログラミングなど、多様な専門科目を現代の複合的な技術ニーズにあわせて学ばせており、近年は3次元CAD/CAM/CAE教育に力を入れています。また、機械加工の実習や、測定とデータ処理を学ぶ工学実験、課題を選んで設計する総合設計、テーマを持って1年間取り組む課題研究（卒業研究）などを通して、学んだ知識や技術の実践力を養成しています。



設計製図(3次元CAD)



PBL授業(ロボット工学)



3次元デジタル設計造形  
コンテストへの出場

## 【資格取得】

技術士補、機械設計技術者3級、危険物取扱者(乙四)、語学(実用英語技能検定準2級、CSWA認定試験(Solid Works)、TOEIC)などの資格取得を奨励しています。また、学んだ知識を活かして卒業後に電気主任技術者3種、機械製図2級、1級ボイラー技士などの資格取得実績があります。

# 情報電子工学科 Department of Information and Electronic Engineering

情報電子工学科では、情報工学と電子工学の両分野を習得することで、ハードの分かるソフトウェア技術者、ソフトの分かるハードウェア技術者としての実践的技術者の育成を図っています。



情報電子工学実験風景

## 【授業・実験・課題研究など】

低学年では情報・電子・通信の各分野と工学全般についての基礎知識を、高学年で専門の基本的な理論と技術を教授しています。1年から4年までの4年間にわたる実験や5年次の課題研究など自ら取り組み、考える環境を与えることで、技術者としての基礎力、問題解決能力、情報発信能力などを養成しています。特に、5年次では情報工学系または、電子工学系のいずれかのコースを選択しそのコースを深く教授し、さらに複合系の中から興味のある科目を選択し積極的に学ぶ実践的専門教育を行っています。



画像関係の課題研究



授業風景



超伝導の課題研究

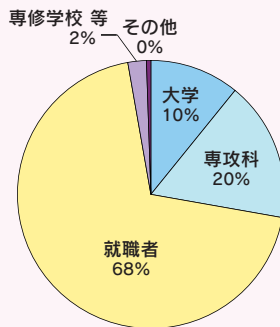
## 【資格取得】

第3種電気主任技術者、デジタル技術検定2級、ラジオ・音響技能検定2級、基本情報技術者、電気通信工事担当者、第2級陸上無線技術士、語学(TOEIC、工業英検3級)などの資格取得を奨励しています。

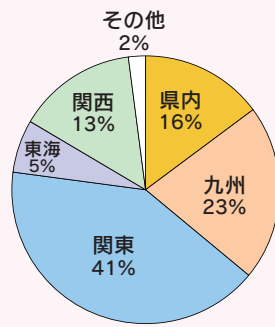
## 八代キャンパスの進路先(その1)

八代キャンパスの各科卒業生の進路先を、過去5年間の集計で示します。八代キャンパスでは、約7割の学生が本科卒業時に就職しています。また、就職先は、県内・九州内が1/3、関西・東海・関東地区が2/3の割合となっています。

学科別では、機械電気工学科が「化学」「機械」「電子部品」等の製造業、情報電子工学科が「機械」「電子」等の製造業と「情報通信」関連、土木建築工学科が「建設業(エンジニアリングを含む)」関係、生物工学科が「食品・医薬品」「化学」「電子部品」等の製造業へとなっています。



進学と就職の割合



就職学生の地域別進路

# 土木建築工学科

Department of Civil & Architectural Engineering

土木建築工学科は、土木工学と建築学を核として建設に関わる幅広い学的素養を培うことで、複雑化する社会の諸問題を総合的に判断し、地域社会に貢献できる実践的技術者を育成しています。

### 【授業・実験・課題研究など】

本科では、3年生まで土木と建築の共通の専門科目を中心に工学全般に関する科目を学び、4、5年生で土木コースと建築コースに別れて専門知識をより深く学習しています。実践的技術者の育成を目指し、充実した実験設備・実験装置を使用した多くの実験・実習・演習をカリキュラムに取り入れ、学生の課題研究や教員の研究が活発に行われています。さらに、「建設技術材料試験所」が、ISO/IEC 17025に適合したJNLA登録事業所として認定され、「地域温泉街再生と共同したエンジニア教育」が文部科学省の現代GPに選定されるなど、地域社会に貢献できる創造性と実力を身につけた技術者を育成しています。



教育GPグループワーク



創造演習



万能試験機、オートグラフ



Creative Design Room

### 【資格取得】

1級・2級建築士、1級・2級土木施工管理技士、1級・2級建築施工管理技士、測量士補・測量士、土地家屋調査士、インテリアコーディネーター・カラーコーディネーター・福祉住環境コーディネーターなどの資格取得を奨励しています。

# 生物工学科

Department of Bioengineering

生物工学科ではバイオテクノロジーの基幹となる生物分野と化学分野の基礎知識と基礎技術を確実に修得し、人間社会と自然環境の調和をはかりながらバイオ産業における技術的問題の解決に主体的に取り組むことのできる「生物と化学の双方に通じた実践的バイオ・ケミカル技術者」を養成します。

### 【授業・実験・課題研究など】

低学年の基礎実習に加え、高学年では化学合成、分析技術、化学的単位操作などの化学系演習や微生物、酵素反応、遺伝子工学などの生物系の基本的な技術を講義と実習で修得します。また、課題研究では、医薬品、化粧品、食品の各分野や、資源の有効利用など環境保全分野での応用研究などをとりあげ、人々の暮らしを豊かにする先進的な技術を学ばせています。



無菌操作室での実験



DNAシーケンサーの実験



GCMSによる分析

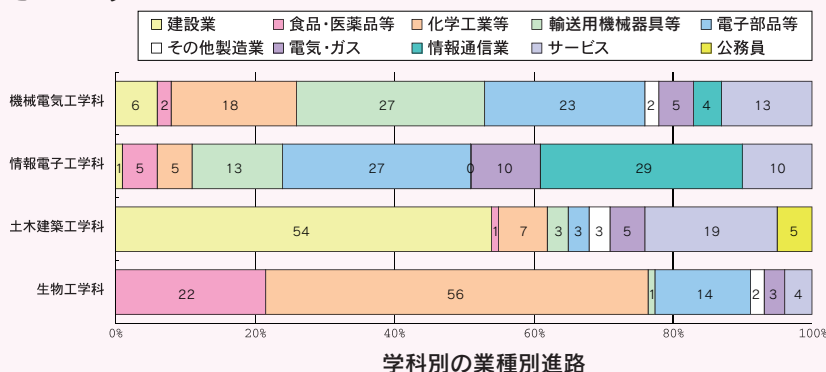
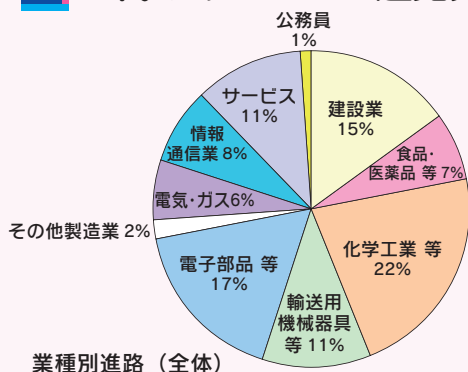


高速液体クロマトグラフィーの実験

### 【資格取得】

危険物取扱者(甲種・乙種)、公害防止管理者(大気・水質・騒音・粉塵・ダイオキシン)、環境計量士、化学分析技能士、バイオ技術者中級の資格取得を奨励しています。

## 八代キャンパスの進路先(その2)



# 「専攻科」について

専攻科は、急速に進む科学技術の国際化と高度化に対応するために、本科5年間の技術者教育で修得した工学の基礎知識と技術を、さらに発展させる課程として設置されています。本校の専攻科は、JABEEプログラムに対応し、技術者としての必要な科学技術の基礎的知識と専門分野の知識と技術を有し、広い視野と国際的なコミュニケーション力および倫理観を備え、これからの社会の様々な問題の解決に、主体的・創造的に取り組める実践の高度技術者の育成を目標としています。

両キャンパスの本科の専門分野に合わせて、2つの専攻を置いています。

## □熊本キャンパス:電子情報システム工学専攻

電子情報系の専門基礎技術を基盤に、急速な技術の高度化・複雑化に対応して、柔軟な創造工夫と国際的視野をもって、未知なる複合領域の課題に対応できる技術者の育成を目標としています。

## □八代キャンパス:生産システム工学専攻

機械・情報・建設・生物系の各専門基礎技術を基盤に、ものづくり分野の設計を担い、これを展開して、国際的視野をもって地域のイノベーション創成を担える技術者の育成を目標としています。

## 専攻科 熊本キャンパス

# 電子情報システム工学専攻

Advanced Course of Electronics and Information Systems Engineering

電子情報システム工学専攻は、熊本キャンパスの電子情報系学科(情報通信工学科、電子工学科、電子制御工学科、情報工学科)を母体として、デバイスから回路設計、マルチメディア通信技術、ロボット技術、コントロール技術、そして情報処理技術にわたる、ハードからソフトまで、多彩で実践的な技術を教育します。

### 【授業・実験・特別研究など】

ハードウェアでは半導体デバイス、デジタル回路技術、メカトロニクス技術、制御システム技術、コンピュータハード技術などを学び、ソフトウェアではプログラミングはもとより、画像処理・感性情報処理などの高度な実践の技術を学びます。また、システム化技術として、情報通信システム、マルチメディアシステムなども学びます。これらの修得により、回路・素子に関する設計技術に加え、これを適切なソフトウェアで制御できる制御技術者、各種のソフトウェア開発に対応できる実践の技術者を育成します。



拡張現実空間を利用した3次元CGと実映像とのコラボレーションに関する研究



クリーンルーム



書字動作に関する研究



デジタル回路設計

## 電子・情報技術応用工学コース (JABEE対応教育プログラム)

本校の教育理念の実現と国際化に対応した技術者の育成のために、本科4年次から専攻科2年次までの4年間の学習・教育に対して、平成18年5月にJABEE認定を受けた「電子・情報技術応用工学コース」を設定しています。このコースでは、主に本科において電子・情報系の基礎技術を育成し、それらの基礎技術の上に専攻科において電子・情報技術を応用した工学技術(通信、エレクトロニクス、ソフトウェア、制御、デバイス・材料等)を教育します。さらに、人間の安全、健康、福祉を考える倫理的態度の理解、技術開発に対する創造性・感性・ヒューマン技術の向上、およびコミュニケーション技術の向上を目指す教育を行います。

### 電子・情報技術応用工学コース

専攻科  
(電子情報システム工学専攻)

本科(4年・5年)

情報通信 工学科	電子 工学科	電子制御 工学科	情報 工学科
-------------	-----------	-------------	-----------

専攻科 八代キャンパス

# 生産システム工学専攻

Production System Engineering Course

本専攻は、総合基盤、コミュニケーション、数学・自然科学、基礎工学などの共通の必修科目群を学ばせながら、加えて、機械・情報・建設・生物系4コースの専門分野の応用科目を選択させることで、得意分野の専門性と幅広い複眼的視野をもつ、研究開発能力を備えた、実践的・創造的エンジニアの育成を行っています。

## 機械システムコース

Mechanical System Education Course

機械システムコースは、機械・電気の両工学分野の基礎を学ぶことにより、これらが融合した領域の技術発展に寄与できる生産技術開発、システム設計能力をもつエンジニアを育成します。

### 【授業・実験・特別研究など】

機械・電気の基礎工学からなる必修科目で複眼的視野を広めるとともに、高度な専門工学を選択的に学ぶことで専門性を高めます。加えて特別研究や実験を通して、知識と技術を駆使して問題を発見し、解決方法を企画実行、結果を分析評価できる研究開発能力を育成します。



極低温流体圧送用ポンプのキャビテーション特性

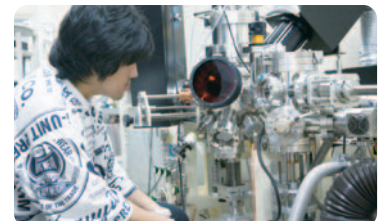
## 情報システムコース

Information System Education Course

情報システムコースは、電気、電子、情報の知識を修得することにより、それぞれの融合した領域の技術発展に寄与できるシステム開発、ソフト開発能力をもつエンジニアを育成しています。

### 【授業・実験・特別研究など】

「応用情報科学」等、電気・電子・情報の広い分野の基礎工学を必修として学ぶことで複眼的視野を広めるとともに、「電子物性デバイス論」等、より高度な専門工学を選択的に学ぶことで自らの専門性を高めます。加えて特別研究や実験・実習等の実践の場を通して、問題解決に向けて自ら企画、実行し、結果を分析評価できる、研究開発能力をもった人材を育成します。



PLD法によるBa系銅酸化物超伝導エピタキシャル成長膜の作製

## 建設システムコース

Construction System Education Course

建設システムコースでは、これからの時代に必要な建設技術や技術者倫理などの幅広い素養を培うことによって、地域社会に貢献できる創造性と実力を身につけたエンジニアを育成します。

### 【授業・実験・特別研究など】

土木工学と建築学に関する専門知識を基礎にして、安全で豊かな環境を建設するために必要な、材料・構造・設計・計画・環境・景観などの分野に関する専門科目を通して応用力を養います。また、地域の文化や環境、及び実際の現場と関連付けた演習科目などを通して社会的責任感、使命感を養い、地域社会に貢献できる実践力と指導力を持った技術者を育成します。



振動台による振動実験

## 生物システムコース

Biological and Chemical System Education Course

生物システムコースでは、多様化の著しいバイオ・ケミカルエンジニアリングの各分野で、研究・開発・製造部門相互の橋渡しができる、問題解決能力を持った実践的エンジニアを育成します。

### 【授業・実験・特別研究など】

本科で学んだ基礎知識と技術をさらに深めるとともに、生物工学分野の応用力を身につけるための専門カリキュラムが編成されています。特別研究では2年間にわたって、実験により高度な専門知識を修得させ、実践的応用力を養います。



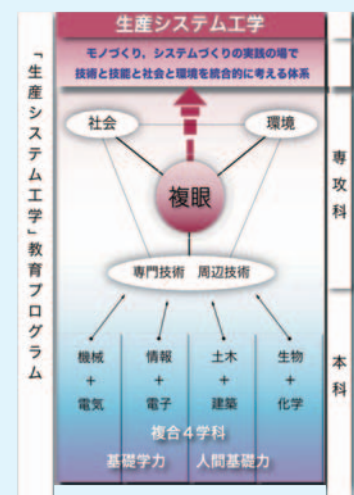
蛍光X線分析装置

## 生産システム工学プログラム (JABEE対応教育プログラム)

本プログラムでは、各コース共通の必修科目を中心に、各専門の応用科目は選択科目としています。特に、「工業基礎計測」や「基礎工学演習」などでは、それぞれの専門分野の知識や技術を相互に活用しながら協力し合い、互いの知識や技術を習得していきこうとするPBL教育を実施しています。

こうして、5年間一貫の本科教育による専門工学の力と、融合・複合力を更に充実させる2年間の専攻科教育によって、融合・複合化が進むモノづくりの現場で、「複眼的な視点から技術を理解し、実践の場において、地域・社会のニーズに応え、アイデアを実現できる能力を備えた技術者」の育成をめざします。また、日々国際化するモノづくりの現場で、語学等のコミュニケーション力を備えた「実践的技術者の育成」も目標にしています。

「総合教育プログラム」の枠組みを生かしながら、本科4年から専攻科2年までの4年間を連続させた教育プログラムとして捉えるのが、八代キャンパス専攻科の「生産システム工学」プログラムです。



# 求人手続きについて

- 平成25年3月卒業・修了予定者への求人については、**既設8学科と2専攻**で、**キャンパスごと**に対応します。
- 求人票は、貴社の様式で構いません。
- 貴社の概要、会社案内等があれば、一緒に送付してください。

## 熊本キャンパス

〒861-1102 熊本県合志市須屋2659-2 学生課学生支援係

TEL:096-242-6229 FAX:096-242-5504 E-mail:shien@kumamoto-nct.ac.jp

**【就職担当教員(ダイヤルイン・市外局番 096)】** ○印は学科長・専攻長

### 情報通信工学科

FAX:242-6062

○大田 一郎  
石橋 孝昭

TEL:242-6062  
TEL:242-6083

E-mail:oota-i@kumamoto-nct.ac.jp  
E-mail:ishibashi@kumamoto-nct.ac.jp

### 電子工学科

FAX:242-6073

○伊山 義忠  
松尾 和典  
本木 実

TEL:242-6073  
TEL:242-6044  
TEL:242-6072

E-mail:iyama@kumamoto-nct.ac.jp  
E-mail:matsuo@kumamoto-nct.ac.jp  
E-mail:motoki@kumamoto-nct.ac.jp

### 電子制御工学科

FAX:242-0981

○永田 正伸  
藤本信一郎  
博多 哲也

TEL:242-6090  
TEL:242-6085  
TEL:242-6093

E-mail:nagata-m@kumamoto-nct.ac.jp  
E-mail:fuji@kumamoto-nct.ac.jp  
E-mail:hakata@kumamoto-nct.ac.jp

### 情報工学科

FAX:242-6106

○村上 純  
小松 一男

TEL:242-6102  
TEL:242-6103

E-mail:jun@kumamoto-nct.ac.jp  
E-mail:kaz@kumamoto-nct.ac.jp

### 専攻科

○三好 正純  
大石 信弘

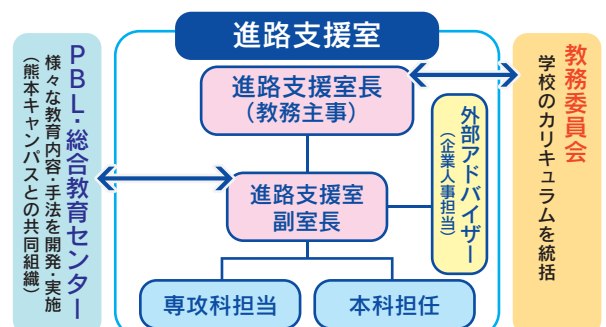
TEL:242-6078  
TEL:242-6082

E-mail:miyoshi@kumamoto-nct.ac.jp  
E-mail:oishi@kumamoto-nct.ac.jp

## Topics

### 進路支援室(八代キャンパス)

進路支援室では、入学から卒業・修了に至る学生のキャリア形成を支援する5年ないし7年間にわたる教育活動をおこなっています。主としてHRを活用した低学年教育を基盤として、本科4年生、専攻科1年生に対しては「進路セミナー」を開催し、職業観の育成や自分自身のキャリア確認、そして具体的な進路選択のプロセスを進めています。セミナーでは、業界・企業・職種研究の一環として、多くの企業の方に協力いただく「地元企業研究・OBOG合同企業説明会」なども実施しています。



## ● 八代キャンパス

〒866-8501 熊本県八代市平山新町2627 学務課学生係

TEL:0965-53-1233 FAX:0965-53-1239 E-mail:g-gakuse@kumamoto-nct.ac.jp

【就職担当教員(ダイヤルイン・市外局番 0965)】 ○印は学科長・専攻長

### 機械電気工学科

FAX:53-1289

○宮本 弘之	TEL:53-1271	E-mail:miya_hiro@kumamoto-nct.ac.jp
田中 禎一	TEL:53-1274	E-mail:t-tanaka@kumamoto-nct.ac.jp
毛利 存	TEL:53-1280	E-mail:mori@kumamoto-nct.ac.jp

### 情報電子工学科

FAX:53-1319

○池田 直光	TEL:53-1316	E-mail:ikedata@kumamoto-nct.ac.jp
磯谷 政志	TEL:53-1311	E-mail:isogai@kumamoto-nct.ac.jp
白井 雄二	TEL:53-1302	E-mail:sirai@kumamoto-nct.ac.jp

### 土木建築工学科

FAX:53-1349

○藤野 和徳	TEL:53-1336	E-mail:fujino@kumamoto-nct.ac.jp
中村 裕一	TEL:53-1334	E-mail:nakamura@kumamoto-nct.ac.jp
浦野登志雄	TEL:53-1337	E-mail:urano@kumamoto-nct.ac.jp

### 生物工学科

FAX:53-1389

○木幡 進	TEL:53-1373	E-mail:kohata@kumamoto-nct.ac.jp
最上 則史	TEL:53-1377	E-mail:mogami@kumamoto-nct.ac.jp
元木 純也	TEL:53-1380	E-mail:junya@kumamoto-nct.ac.jp

### 専攻科

○木場信一郎	TEL:53-1308	E-mail:koba@kumamoto-nct.ac.jp
機械システムコース:小田 明範	TEL:53-1281	E-mail:odaki@kumamoto-nct.ac.jp
情報システムコース:木場信一郎	TEL:53-1308	E-mail:koba@kumamoto-nct.ac.jp
建設システムコース:磯田 節子	TEL:53-1347	E-mail:isodas@kumamoto-nct.ac.jp
生物システムコース:濱邊 裕子	TEL:53-1372	E-mail:hamabe@kumamoto-nct.ac.jp

## ホームページ

- ・求人窓口等については、本校ホームページからもご覧いただけます。
- ・就職窓口等 URL:[www.kumamoto-nct.ac.jp/company/recruit.html/](http://www.kumamoto-nct.ac.jp/company/recruit.html/)



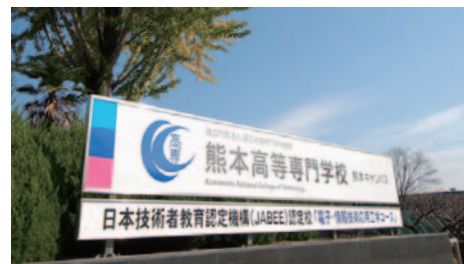
# 熊本キャンパス

連絡先: 〒861-1102 熊本県合志市須屋2659-2  
学生課学生支援係 TEL:096-242-6229 FAX:096-242-5504



## [アクセス]

- 熊本電鉄 (バス)  
JR熊本駅/交通センターから北1・北3系統の菊池温泉行又は菊池プラザ行(田島経由を除く)に乗車「熊本高専前」下車、徒歩2分
- 熊本電鉄 (電車)  
「藤崎宮前」から御代志行に乗車(約25分)「電波高専前」下車、徒歩2分  
また、「JR上熊本駅」から「北熊本」行き、「北熊本」で「御代志」行きに乗り換えて「電波高専前」下車



# 八代キャンパス

連絡先: 〒866-8501 熊本県八代市平山新町2627  
学務課学生係 TEL:0965-53-1233 FAX:0965-53-1239



## [アクセス]

- JR / 「新八代駅」から約7km  
「八代駅」から約5km
- 肥薩おれんじ鉄道 / 「肥後高田駅」から徒歩7分
- 産交バス / 「八代駅前」乗車  
(1)「君ヶ淵」行き「高田駅前」下車、徒歩7分  
(2)「水俣」行き「短大・高専前」下車、徒歩5分

